

平成30年度 「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」 活動推進実践報告書

1 学校の概要

- (1) 埼玉県立新座総合技術高等学校
- (2) 学級数 21 (平成30年5月1日付け)
- (3) 生徒数 772 (同上)
- (4) 教職員数 98 (同上)

2 「私たちのネット利用ルール」づくりについて

- (1) 取組内容 (決定までのプロセス)
 - ・全校アンケートもふまえ、合同ワークショップに参加したアンバサダーを中心とした情報技術研究部2年生が対策についても検討(8月)
 - ・様々な意見が出るも、まずよくないことを教える機会をできるだけ早く作った方が良いということに収束する。
- (2) 全校への周知の方法
 - ・デザイン科生徒によるポスター作品による周知
 - ・研修会の実施(特に新入生)
- (3) 私たちのネット利用ルール
トラブルや引き起こされる発端や人間は日々変わるものでもあるため、文言としては、明確に定めず毎年の事業として継続して、「新入生への研修会の実施」「ポスター等の作成と掲示」を実施することを決めた。

3 活動推進校独自の取組

- (ア) ポスター関連について
デザイン科によるポスター制作も、校内に向けたものに留まらないよう、IPA 独立行政法人情報処理推進機構主催の「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」などに応募し、様々な視点で評価を得て内外にPRする。
(<https://www.ipa.go.jp/security/event/hyogo/>)
- (イ) 研修会について
内容の継続をしやすいするためと、生徒同士での更なるトラブルを避けるために講師は教員が務めるが、その内容は近々の様々なトラブルについて生徒が主体となって検討したものを取り上げるように実施する。

4 活動の成果と課題

- (1) 検討しあうことで、何が悪いことで何が大丈夫なことかはっきりするという意見も挙がった。
- (2) 学校全体で事業を進めていくためには、行事の兼ね合いや考え方の違いでうまく進まないことが多かった。学年よりも本校は全く異なる専門学科が3種6学科あることも大きいことがあげられる。